



RDBOサービス実現に向けて

現状の問題

- ・ AP側での業務ロジックの実装の場合は、ユーザー部門はもちろんのこと情シス側からもシステムがブラックボックスになりやすい。
(※情シス部門が実装レベルでコードを理解はできていない。都度流行り廃りを繰り返す、言語、フレームワーク等のトレンドに追いつくのが大変。)
- ・ 機能追加等も俗人化が行き過ぎると、すべて同じベンダ頼みになり品質とコストが高止まりする。

発注者はベンダに対して
コンペティティブになりにくい。
(※ベンダの言いいなり)

- ・ 性能にいつもトラブルを抱えている。

解決策

業務ロジックをSQL言語で実装する

ユーザーだけで
完結

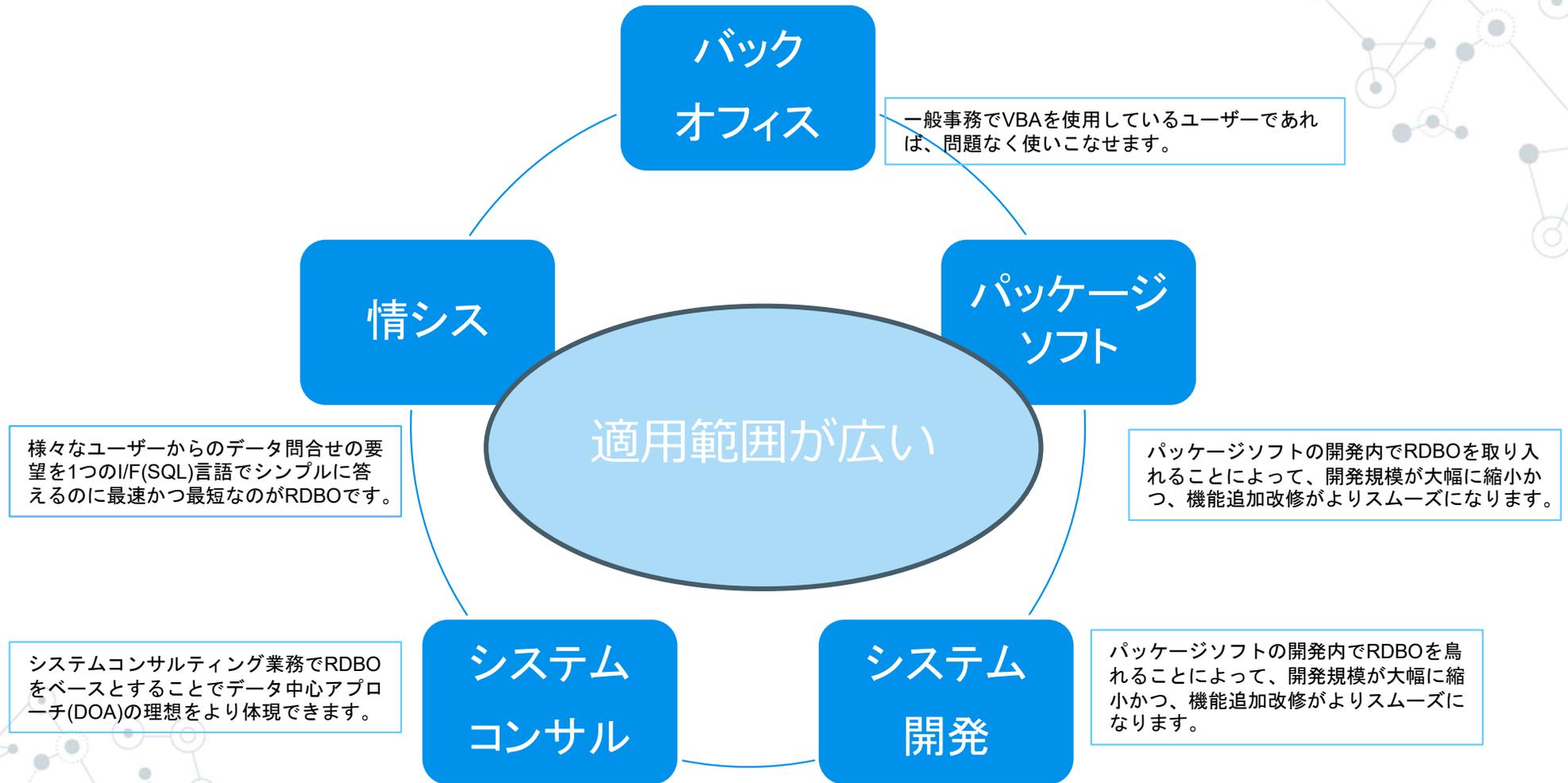
情シスだけで
完結

性能 **光速**

今迄解決できていない理由

- 業務ロジックをSQL言語で実装する方法を定式化できていない
- 開発手法のトレンドがやってくる海外（※アメリカ）からは、主に開発者はDBを意識しないのがベストという流布がある
- システム開発業界全般が、SQL言語の制御フローを知らない
(※欲しいデータが含まれているレコードセットをDBからとってきてAPで加工すればよい。)
- mysqlでは、業務ロジックの実装を行う上で重要なCTE構文、lateral句が取り入れられたのはつい最近
(※CTE mysql8.0.1 2017年~、lateral句 mysql8.0.14 2019年~)

対象とする組織・製品



サービス実現に向けての残タスク(課題)

1. データとクエリ

- データ取得方法の定式化調査
- ※業務データ⇔SQLを決まりきった方式を落とし込むためのパターン化作業

2. 開発向け全般

- 開発向け全般の定式化調査
- コンサルティング、開発・設計用のRDBO適用方法についての調査
- ストアドプロシージャ摘要調査

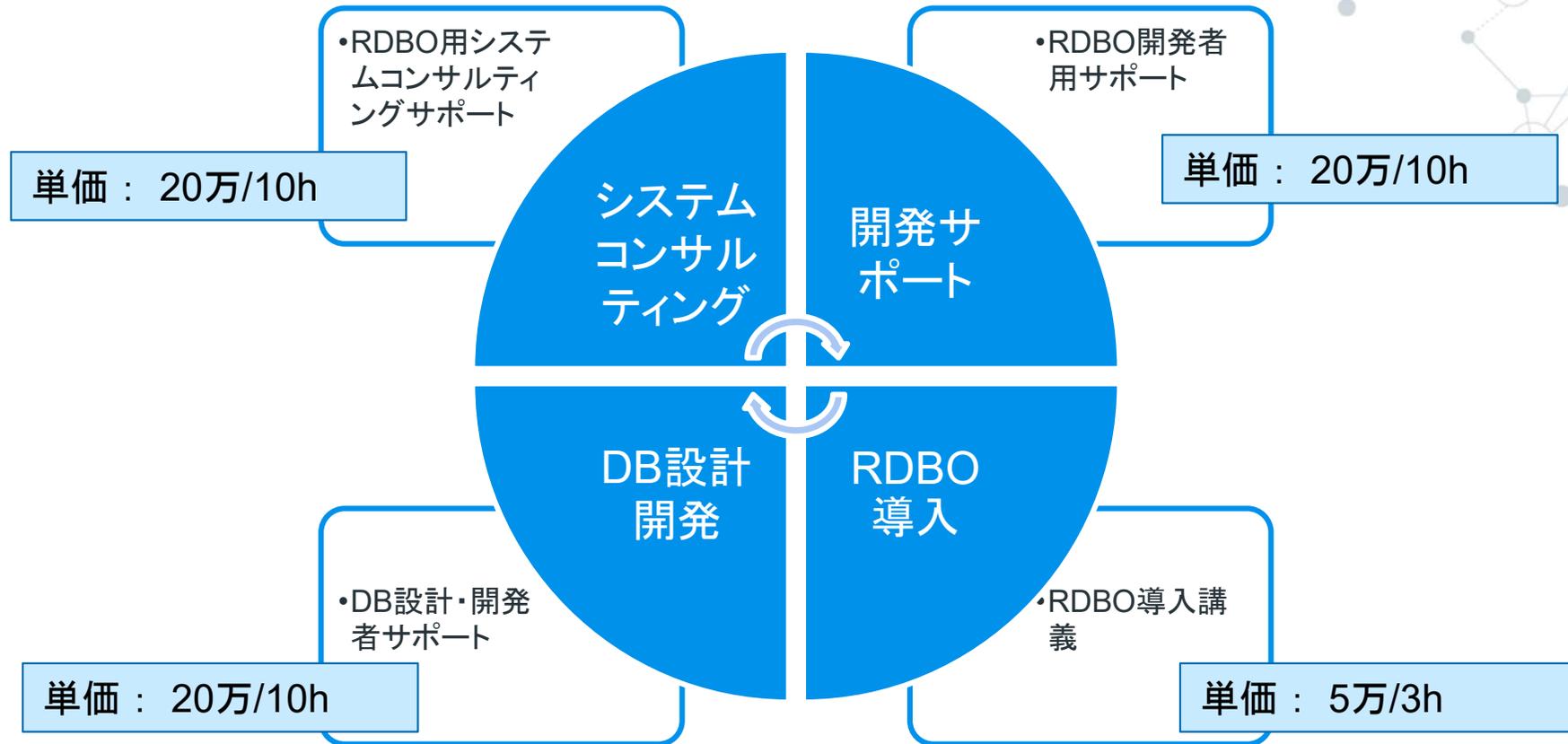
3. サンプル

- バックオフィスユーザー、主に開発業務用逆引きサンプル実装

4. 各職種別資料

- 上記1~3を包括した各職種別説明資料、講義資料、営業用資料の作成

ビジネスモデル



自社パッケージサービス開発を視野に入れてます